

選挙公報掲載文原稿用紙

静岡県
前進
ビジョン

関連予算
総額
(4年間)

1,000億円以上

即実行!!

既存事業の効率化と見直しで新規投資の予算を捻出します!

防災 × インフラ × 産業政策 × 県民の幸せ = 前進!!

静岡県の魅力溢れる多様な地域資源を活かした大きな戦略のもと、県の各事業と国の政策、市町の政策との連携により相乗効果を生み出し、県政を大きく前進させます。

製造業を「再興」働く人を「再幸」に 世界「最高」のものづくりのまちへ

静岡県の誇り「ものづくり」を国の政策も総動員してV字回復。
雇用・福祉政策を推進し働く人の幸せを増進。海外販路拡大、製造業の国内回帰、スタートアップ支援を連動させて世界最高の「ものづくり」のまちへ!

遠州ものづくり
さあ行こう。
プラン

21世紀に花開く産業の宝庫 世界から人が集い「新しい」を生み出す

医薬・医療機器、化学、バイオテクノロジー、観光、農林水産業、コンテンツ産業…
共通するのは「21世紀に花開く産業」。
東京圏からの移住者、海外からの観光客も多い東部(富士・伊豆)を未来産業の集積地に!

富士/伊豆
未来産業
リージョン

駿河
スーパーハブ
构想

抜群のアクセス特性を活用しヒト・モノ・情報の結節点に
道路(東名・新東名・中部横断道)、港湾、空港、鉄道が交わる
静岡県のハブを日本のハブへ押し上げます。
さらにDX・デジタル技術を活用しヒトとモノに加えて情報が集まる21世紀型のハブ都市へ!



SHIZUOKA
Forward Vision

防災
特区

国の特区指定と攻めの防災でいのちと暮らしを守り抜く
能登半島地震により明らかになった「半島」という地形の脆弱性を一日も早く克服する
ために、国の特区制度を活用し伊豆半島全体を「半島防災」のモデル地域に。
伊豆縦貫道の整備を加速させ、政策を総動員していのちと暮らしを守り抜きます!

プロフィール

- 1963年 静岡県生まれ・静岡県育ち
幼少期を旧舞阪町(現浜松市中央区)で過ごす
- 1987年 東京大学経済学部卒業後、自治省(現:総務省)に入省
- 2009年 総務省から静岡県の総務部長として出向
- 2010年 この年から2年間、静岡県副知事を務める
以後、消防庁国民保護・防災部長、総務省公務員部長、
新型コロナ対策地方連携総括官、内閣官房孤独・孤立
対策担当室長、総務省地域力創造審議官などを歴任

リニア推進

早期
解決
5年の約束

▶ 流域の皆さんの不安を一日でも早く
解消するための「1年以内」という覚悟
▶ スピード感を武器に大きな譲歩や
支援を国やJRから引き出し静岡県の
メリットを最大化

1年以内に
結果を出す

- 1 流域の声を反映させる
- 2 大井川の水と環境を守る
- 3 静岡県のメリットを引き出す
- 4 国の関与を明確にする

浜松野球場再検証

2万2千人のドーム

ありきの議論は **STOP**

ゼロベースで再検証

①現3案の経緯とプロセス
②事業の妥当性 ③費用対効果
丁寧に市民・県民の声を聞く

整備費370億円以上!
県民一人あたり1万円
以上※!

※370億円の財政負担を
県民370万人一人あたりに
換算すると

浜松市民・静岡県民にとって**最適な野球場を最速で整備**

無所属 / 60歳

大村
しんいち

総務省出身 / 元副知事